

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 整形Ⅰ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時間	月曜・1限
担当教員	後藤 洋平				
授業概要	・整形外科の基本的な知識を整理しながら、理学療法士としてのリハビリテーションの方法(運動器疾患に対する)を学ぶ。 ・実際の運動器疾患に対する評価方法を実技を用い学ぶ。(基本的な評価法を理解し運動器疾患に応用する) ・疾患別の運動器疾患に対する治療を学ぶ。				
学習目標	1. 整形外科疾患の病態の理解を行う。 2. 整形疾患に対するリハビリテーション全般の整理を行う。 3. 運動器疾患に対する評価を学ぶ。 4. 運動器疾患特有の運動療法を学ぶ。 5. 実習で実施できる基本的な評価・治療をみにつける。				
回数					担当教員
1回目	運動器の基礎理論 (運動の原則、病態、組織の損傷と修復)①				後藤 洋平
2回目	運動器の基礎理論 (運動の原則、病態、組織の損傷と修復)②				後藤 洋平
3回目	運動器の基礎理論 (運動の原則、病態、組織の損傷と修復)③				後藤 洋平
4回目	運動器の評価(医療面接、急性期の評価、四肢体幹反測定、検査結果の解釈)				後藤 洋平
5回目	運動器理学療法の治療(総論、筋機能障害、疼痛管理等)②				後藤 洋平
6回目	小テスト①(講義:1～5回) まとめと振り返り				後藤 洋平
7回目	変形性膝関節症(評価、リスク管理、目標設定、治療等)①				後藤 洋平
8回目	変形性膝関節症(評価、リスク管理、目標設定、治療等)②				後藤 洋平
9回目	大腿骨近位部骨折(評価、リスク管理、目標設定、治療等)①				後藤 洋平
10回目	大腿骨近位部骨折(評価、リスク管理、目標設定、治療等)②				後藤 洋平
11回目	小テスト②(講義:7～10回) まとめと振り返り				後藤 洋平
12回目	脊椎椎体骨折(評価、治療、保存療法、術後理学療法)				後藤 洋平
13回目	関節リウマチ(評価、治療、保存療法、術後理学療法)				後藤 洋平
14回目	肩関節疾患(評価、治療、保存療法、術後理学療法) 上肢骨折まとめ				後藤 洋平
15回目	小テスト③(講義:12～14回) まとめと振り返り				後藤 洋平
教科書及び参考書	最新理学療法講座 運動器理学療法学				
成績評価	定期テスト70%、提出物・小テスト30% 欠席(-3点)、遅刻(-1点)、態度不良、および教科書、配布資料を忘れた場合は減点の対象とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
整形外科疾患(運動器疾患)は、実習にて対象となる最も多い疾患の1つです。また国家試験でも多くの関連する問題が出題されます。 また、日常でも自身の痛みまたは家族の関節の痛みも理解できるようになります。問題がある関節に対し、医療機関で診断を受け、自身でもトレーニングし改善できる知識を身につけていただければと考えます。 1月から始まる実習に対しても、知識を整理し、実習でもスムーズに実技が進められるよう集中して取り組んでいきましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
整形疾患を呈した方のリハビリテーションにおける重要な視点は、基礎知識をリンクさせることです。整形疾患は小児から高齢者まで多くの年代の方が対象になり、小児やスポーツの分野等でも必ず必要な知識になります。しっかりと整形疾患に対する考え方を学んでいきましょう。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 整形Ⅳ	授業 形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	月曜・2限
担当教員	笠原 靖子				
授業概要	・整形外科疾患の基本的な知識を整理する。理学療法士として整形外科疾患の基本的な治療を学ぶ。 ・基本的な評価を確認しながら、整形疾患別に必要な評価方法を学ぶ。 ・運動器疾患に対する治療を立案し実際に実技を行う				
学習目標	① 上下肢の疾患に対する評価・治療について実践できる ② 体幹に対する運動療法を実践できる ③ バランス・協調性に対する運動療法の実践ができる				
回数					担当教員
1回目	症例を考える ① : 上肢の疾患(肩関節①)に対する評価・治療について学ぶ				笠原 靖子
2回目	症例を考える ② : 上肢の疾患(肩関節②)に対する評価・治療について学ぶ				笠原 靖子
3回目	症例を考える ③ : 上肢の疾患(肘・手①)に対する評価・治療について学ぶ				笠原 靖子
4回目	症例を考える ④ : 上肢の疾患(肘・手②)に対する評価・治療について学ぶ				笠原 靖子
5回目	症例を考える ⑤ : 上肢の疾患(肘・手③)に対する評価・治療について学ぶ				笠原 靖子
6回目	体幹に対する運動療法を実践できる				笠原 靖子
7回目	小テスト:テスト振り返り・まとめ				笠原 靖子
8回目	レッドコード:レッドコードを使っでの治療を学ぶ				笠原 靖子
9回目	症例を考える ⑥ : 下肢の疾患(膝関節①)に対する評価・治療について学ぶ				笠原 靖子
10回目	症例を考える ⑦ : 下肢の疾患(膝関節②)に対する評価・治療について学ぶ				笠原 靖子
11回目	症例を考える ⑧ : 下肢の疾患(股関節①)に対する評価・治療について学ぶ				笠原 靖子
12回目	症例を考える ⑨ : 下肢の疾患(股関節②)に対する評価・治療について学ぶ				笠原 靖子
13回目	症例を考える ⑩ : 下肢の疾患(足関節①)に対する評価・治療について学ぶ				笠原 靖子
14回目	バランス・協調性に対する運動療法の実践				笠原 靖子
15回目	小テスト:テスト振り返り・まとめ				笠原 靖子
教科書及び 参考書	運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 理学療法評価学 改訂第6版 金原出版(株) 15レクチャーシリーズ スポーツ理学療法学 運動器理学療法学				
成績評価	定期試験(80%)、小テスト2回(10%×2)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減) 態度不良は減点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
日常生活でよく目にしたり、聞いたことのある疾患をもとに、評価・治療の立案をしてみましょう。治療に関しては、実際にどんな治療を行い、どこに注意をしたら良いか学びましょう。整形疾患は私たち理学療法士が多々携わることとなります。国家試験でも多くの問題が出題されます。評価実習や総合実習においても実際に担当する場面も出てくると思います。知識の整理をしながら、評価と治療と一緒に学んでいきましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
地域の整形外科で理学療法士として仕事をしてまいりました。骨折や靱帯損傷など、保存治療を中心にリハビリを実施。その他、高齢者の変形性関節症、慢性疼痛疾患などの患者様を診てまいりました。一般的なりハビリの治療を実際に行いながら学んでいける授業にしたいと思っています。					

社会調査法(3092)		室山 俊浩		併修科目・必修	
				3年	
				PT月曜3限	
授業のねらい	本科目では、社会調査および社会福祉調査の基礎的事項を学習するが、社会福祉調査は社会福祉領域での社会調査のことであるため、本科目の内容の多くの部分は社会調査に関するものとなる。本科目を学習することにより、社会調査の重要性、世の中に氾濫する社会調査の真実や問題点、社会福祉領域における社会調査の活用法について把握することが可能となる。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポ ー ト 1 (ポイント)	社会調査および社会福祉調査の性格についてまとめ、量的調査(統計調査)と質的調査(事例調査)の相違について述べよ。 社会調査、社会福祉調査それぞれの意義と目的をよく理解した上で、社会調査、社会福祉調査の基本的性格をまとめること。また、量的調査(統計調査)と質的調査(事例調査)それぞれの調査方法についてまとめ、両者の相違点について考察すること。		下 書	月 日 ()
	レポ ー ト 2 (ポイント)			清 書	9月29日(月)
	科目終了試験	学修のポイント 2 全数調査と標本調査の特徴および標本抽出法について 学修のポイント 3 質問紙の作成方法と留意点について 学修のポイント 1 社会調査における倫理と個人情報保護について		科目終了試験 12月 1日(月) 実施予定	
	期 末 試 験 スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
	1	社会調査の基礎			
2	社会福祉調査の性格				
3	量的調査・質的調査とその相違				
4	学修のポイント 2 全数調査と標本調査の特徴および標本抽出法について				
5	学修のポイント 3 質問紙の作成方法と留意点について				
6	学修のポイント 1 社会調査における倫理と個人情報保護について				
7	評価方法				
8	調査における誤差				
9	科目終了試験対策				
10	「社会調査法(3092)」科目終了試験(持ち込み不可)				
	期末試験				
成績 評価	出 席 率	30点	80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。		
	期 末 試 験	50点	持ち込み:可、論述式		
	授 業 内 評 価	20点	レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して加算する。		
備 考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。 レポート・学習のポイントの厳守は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回るとことになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

更生保護(3211)		大兼健寛		併修科目・必修		
				3年		
				PT 月曜4限		
授業のねらい	更生保護制度の概要と保護観察におけるダブルロールについて学ぶ。					
	日本の刑事政策における仮釈放制度や、保護観察制度の多面的側面について学ぶ。					
		更生緊急保護という、特殊な状況下における更生保護処遇について学び、現代社会における刑事政策と福祉政策の在り様について学ぶ。				
教科書・資料		大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	刑事政策における更生保護の意義と保護観察におけるダブルロールについて述べよ。			清書	11/10 (月)授業内
	(ポイント)	我が国の刑事政策において更生保護制度が担っている役割、機能を中心に論述し、保護観察は本人の行動を統制、制限する権力的側面とその社会復帰を援助する両側面について、これをダブルロールという言葉を用いてより具体的に述べること。				
	レポート 2				清書	
	(ポイント)					
	科目終了試験	学修のポイント1・仮釈放について 学修のポイント2・保護観察について 学修のポイント4・更生緊急保護について			科目修了試験12月1日(月)実施予定	
1	更生保護制度とは？					
2	更生保護におけるダブルロール					
3	保護観察とは？					
4	保護観察におけるダブルロール、清書レポート作成					
5	清書レポート作成					
6	学修のポイント1・仮釈放等について					
7	学修のポイント2・保護観察について					
8	刑罰とは何か？					
9	過ちを犯さないためにー現代社会を生きるにはー					
10	科目終了試験					
成績評価	出席率	80%以上の出席率であること。それに満たない場合、別途課題レポートを提出すること。				
備 考	授業中にレポート作成時間を設けはしますが、時間の都合上、満足できるほどの時間は作れないかと思えます。そのようでありますので、自身の時間を効率よく活用し、レポート作成を行ってください					
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、80%以上が求められます。80%を下回るとことになれば、別途課題の提出を求めます。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	日常生活動作学・生活環境論	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・3年
				曜日・時限	火曜・1限
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	ADLは人間が自立して生活するために日々繰り返される動作である。しかし、治療や支援が必要な人にとっては福祉道具や動作を実施する環境などによっても影響を受ける。そのため、本講義はADLの基礎的な知識から評価、疾患別の動作の理解をADL指導に繋げ生活環境まで幅広い知識を学んでいきます。				
学習目標	①ADL評価を理解する ②自助具・補装具、車椅子等生活支援に関わる道具を理解する ③基本動作に必要な運動を理解する ④各疾患のADLの特徴及び介助方法を理解する ⑤国家試験の出題範囲及び内容を理解する				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション、総論、ADLの概念・位置づけ、ADL支援の今後の課題など				水野 靖廣
2回目	ADL評価(機能評価の目的、障害分類法、国際障害分類、国際生活機能分類など)				水野 靖廣
3回目	ADL評価(国際生活機能分類、国際生活機能分類のコード分類・数字の対応など)				水野 靖廣
4回目	ADL評価(機能評価の評価一覧、能力低下の評価一覧、Barthel indexなど)				水野 靖廣
5回目	FIM(採点対象、運動項目の採点基準、認知項目の採点基準、ルール、調べ学習など)				水野 靖廣
6回目	FIM 発表(セルフケア、排泄コントロール、移乗・移動、コミュニケーションなど)				水野 靖廣
7回目	FIM 発表(社会的認知、国家試験確認問題など)				水野 靖廣
8回目	ADLを支援する機器(T字杖、オフセット杖などの補講補助具、Pauwelsのてこの理論など)				水野 靖廣
9回目	確認テスト まとめ及び共有①				水野 靖廣
10回目	人工股関節術後の日常生活活動(脱臼肢位、ソケットネックインピンジメント、起居動作など)				水野 靖廣
11回目	慢性関節リウマチの日常生活活動(関節保護とエネルギーの節約、自助具など)				水野 靖廣
12回目	脳卒中片麻痺の日常生活活動(起居動作、移乗動作、更衣動作、歩行など)				水野 靖廣
13回目	parkinson病の日常生活活動(Yahrの重症度分類、on-off現象、ウェアリングオフ現象など)				水野 靖廣
14回目	生活環境論について(平面図の見方、玄関スロープの勾配、階段・上がり框の高さなど)				水野 靖廣
15回目	確認テスト まとめ及び共有②				水野 靖廣
教科書及び参考書	・標準PT 専門分野 日常生活活動学・生活環境学 第4版(鶴見 隆正編集、医学書院出版) ・脳卒中の機能評価 SIASとFIM[基礎編](千野 直一編集、金原出版株式会社出版)				
成績評価	定期テスト80%、確認テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
座学のみでなく実技を交えて展開していきます。そのため皆さんの協力が必要となります。 ADLは解剖学、生理学に並び理学療法において「要」となる学問です。当然、国家試験においても出題率が非常に高いです。また、臨床実習で問われる疾患別の起居動作、歩行、応用動作なども学んでいきます。実習や国家試験などADLの重要性を理解し積極的に取り組み1回1回の授業を大切にしてください。 なお、授業内容及び進度は皆さんの理解度や感染症の状況などで随時変更する場合があります。その際は事前に連絡します。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
理学療法士として整形外科クリニックで高齢者リハビリテーションやスポーツリハビリテーションの実務経験がある教員が、ADLの評価をはじめ様々な疾患に対応した指導を理解しアプローチ方法、リスク管理を指導する科目である。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 内部Ⅱ (循環・老年)	授業 形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	火曜・2限
担当教員	平澤 勉				
授業概要	正常な循環機能を復習し、検査の方法を理解します。また高齢者の身体機能がどのように低下していくのかも理解します。障害や状態に合わせて理学療法士にできることは何なのか、評価やプログラムを立てる理学療法士の思考について、また御本人や御家族がどう現状を受け止めていくのか学習します。				
学習目標	①循環機能、加齢に伴う身体機能変化の知識を深める。 ②循環機能が障害されるとどうなるのか、加齢に伴い身体機能がどうなるのか、治療や予防方法を理解する。 ③「心大血管リハビリテーション科」の対象となる疾患と老年期の評価、プログラムを立案できる。				
回数					担当教員
1回目	循環器の解剖・整理・主要症候についての復習				平澤 勉
2回目	循環器の検査(血圧、脈拍、心電図)について				平澤 勉
3回目	不整脈と心電図について(正常と異常の違い)				平澤 勉
4回目	心不全について(左心不全、右心不全の違い、検査、重症度分類、)				平澤 勉
5回目	心不全の理学療法プログラムの検討				平澤 勉
6回目	虚血性心疾患(狭心症と心筋梗塞)について				平澤 勉
7回目	小テスト、まとめ				平澤 勉
8回目	心臓弁膜症・心内膜炎(大動脈・僧帽・三尖・肺動脈弁の狭窄・閉鎖不全症に				平澤 勉
9回目	大動脈瘤・解離、末梢動脈疾患、ASO、Buerger病について				平澤 勉
10回目	静脈・リンパ管疾患(下肢静脈瘤、深部静脈血栓症)について				平澤 勉
11回目	先天性心疾患(心室中隔欠損、Fallot四徴候、三尖弁閉鎖症など)について				平澤 勉
12回目	運動処方、再発予防とチーム医療、一時救命処置、心電図				平澤 勉
13回目	小テスト、まとめ				平澤 勉
14回目	老年期(サルコペニア、栄養障害)の理学療法プログラムの検討				平澤 勉
15回目	老年期(フレイル、ロコモティブシンドローム)の理学療法プログラムの検討				平澤 勉
教科書及び 参考書	①病気がみえる Vol.2循環器 ②最新理学療法講座 内部理学療法学 講義配布資料				
成績評価	定期試験(80%)、小テスト2回(20%)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
心疾患は日本の死因の第2位と死因の約15%を占めています。しかし、そのほとんどの原因は生活習慣の改善から防ぐことができます。理学療法士は病院内で他の医療スタッフよりも患者と関わる時間が長く、生活習慣についても語り合う機会が多いです。「タバコくらい大丈夫ですよ。」「退院したら好きなもの食べましょう。」など不用意な発言はせずに、適切なアドバイスをできるようにしましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
急性期から生活期まで働いた経験から得た知識を活かし、教科書の知識だけでなく、実際の臨床ではどのような症状がみられるか、またどのような理学療法を行うのかを伝えていきます。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 小児	授業形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	水曜・1限
担当教員	原田隆之				
授業概要	子どもの正常発達を学び、発達段階を理解していく。また、姿勢制御機構(原始反射・姿勢反射・立ち直り反応・平衡反応)の発達を学ぶことで、リハビリ内容とリンクさせて考えられるようにする。各種疾患による、障害の特徴を理解し、評価や治療へと展開していく。授業では、動画を多く取り入れ、イメージがつくように行っていく。				
学習目標	①正常発達の月齢を理解し、発達段階を予測できるようになる。 ②姿勢制御機構(原始反射・姿勢反射・立ち直り反応・平衡反応)について理解し、説明出来るようになる。 ③脳性麻痺などの各種疾患の障害像を理解し、適切な評価・治療が行えるようになる。				
回数					担当教員
1回目	小児理学療法概論、運動発達理論(神経成熟理論、アフォーダンス理論、ダイナミックシステムズ理論)				原田 隆之
2回目	胎児期の行動メカニズムについて				原田 隆之
3回目	運動発達概論と各種評価法(発達検査と運動発達検査)について				原田 隆之
4回目	正常運動発達(出生から歩行獲得までの発達過程)について				原田 隆之
5回目	姿勢制御機構の発達1(原始反射・姿勢反射)について				原田 隆之
6回目	姿勢制御機構の発達2(立ち直り反応・平衡反応)について				原田 隆之
7回目	運動発達、姿勢反射演習・実技				原田 隆之
8回目	脳性麻痺1(概念、疫学、原因と病理、各種分類)について				原田 隆之
9回目	脳性麻痺2(痙直型における、評価と介入)について				原田 隆之
10回目	脳性麻痺3(アテトーゼ型における、評価と介入)について				原田 隆之
11回目	重症心身障がい児(概要、症状、評価と介入)について				原田 隆之
12回目	子どもの整形外科的疾患(二分脊椎、骨端症、先天性骨関節疾患)について				原田 隆之
13回目	子どもの遺伝性疾患(筋ジストロフィーに対する評価と介入)について				原田 隆之
14回目	知的障がいの概念と定義、ダウン症に対する評価と介入について				原田 隆之
15回目	障がい倫理・親の想いについて				原田 隆之
教科書及び参考書	小児理学療法学テキスト(南江堂) 講義配布資料				
成績評価	1. 筆記試験(90%) 2. 学習態度(10%) 以上を総合的に判断して、6割以上を合格とする。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
現在、出生数は減少している中、医療の発展、高齢出産等の理由により、障がいを抱えているお子さんは増加しています。しかし、小児理学療法を受けれる社会資源は、充足していません。理学療法士が必要とされている領域です。小児理学療法に対して苦手意識を持たず、学習に取り組んでいきましょう。 積極的に授業に参加し、疑問点などあればその場で解決出来るように質問してください。また、授業の終わりに確認テストを行ない、その都度理解度をみていきます。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
一般社団法人Re Smileでは、2012年に制度化された放課後等デイサービス(障がい児が学校後や休日に通う施設)において、全国でも珍しいリハビリに特化した運営を行なっています。講義の中では、利用児・ご家族の協力を得て、写真・動画を駆使しながら、実際のリハビリ現場をイメージしやすいように行なっていきます。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 内部Ⅲ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	水曜・2限
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	栄養素は生命活動や作業に必須のエネルギー源であり、栄養管理なくして身体組織も活動や作業も成立しません。一方、この栄養摂取とエネルギー代謝障害の代表的な疾患である糖尿病は、世界で最も罹患人口が多いと言われています。本講義では糖尿病を中心に脂質や尿酸などの代謝障害を学びその病態や発症メカニズムと症状、検査および診断、治療に対する考え方を学びます。				
学習目標	①栄養素の同化と異化、エネルギー供給系を理解する。 ②代謝、内分泌系疾患、腫瘍の定義、種類、特徴などを理解する。 ③代謝、内分泌系疾患、腫瘍に対する運動療法の意義や基本的考え方を理解する。 ④代謝、内分泌系疾患、腫瘍に対するリスク管理について理解する。 ⑤代謝、内分泌系疾患、腫瘍の国家試験を理解する。				
回数					担当教員
1回目	総論(同化と異化、三大栄養素の消化酵素、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系等)				水野 靖廣
2回目	エネルギー代謝(呼吸商、代謝当量、基礎代謝、特異動的作用、エネルギー代謝率等)				水野 靖廣
3回目	体温調節(正常体温、体温調節、部位別の熱産生、調節機序、体温上昇による生体反応等)				水野 靖廣
4回目	糖代謝総論(糖の役割・利用、インスリンの作用、血糖調節とホルモン、GLUT4等)				水野 靖廣
5回目	糖代謝異常(病態、1型・2型糖尿病の発症機序、症状・臨床所見、検査・診断・治療等)				水野 靖廣
6回目	急性・慢性糖尿病の合併症(誘因、病態、症状、検査、治療)についての調べ学習				水野 靖廣
7回目	急性・慢性糖尿病の合併症(誘因、病態、症状、検査、治療)についての発表、確認問題				水野 靖廣
8回目	肥満症(肥満の種類、判定方法、コレステロールの分類、メタボリックシンドローム等)、骨代謝等				水野 靖廣
9回目	確認テスト まとめ及び共有①				水野 靖廣
10回目	内分泌(脳、甲状腺、副甲状腺、膵臓、腎臓、胸腺等)、異常分泌疾患についての調べ学習				水野 靖廣
11回目	内分泌(脳、甲状腺、副甲状腺、膵臓、腎臓、胸腺等)、異常分泌疾患についての発表、確認問題				水野 靖廣
12回目	腫瘍について(定義、分類、形態、進展形式、原因とメカニズムなど)				水野 靖廣
13回目	腫瘍について(理学療法士・作業療法士との関連事項など)、確認問題				水野 靖廣
14回目	確認テスト まとめ及び共有②				水野 靖廣
15回目	定期試験対策				水野 靖廣
教科書及び参考書	病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌(発行者 岡西 豊、出版所 メディックメディア)				
成績評価	定期テスト80%、小テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
代謝疾患は脳血管障害などの合併症として、臨床で頻繁に対応を求められる学問であり、国家試験においても多く出題される学問ですので理解することが必要です。そのためには基礎科目である生理学をしっかりと復習しておく必要があります。本講義において分からない点がある場合は積極的に質問して頂くのと同時に生理学を振り返りましょう。 なお、本講義は座学のみでなくグループワークや実技を交えて展開していきます。そのため学生の皆さんの積極性、協調性が重要となります。全員で講義を作り上げましょう。 授業内容及び進度は、理解度に応じ生理学の振り返りやコロナウイルス感染症など必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。柔軟に対応しましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
理学療法士として整形外科クリニックで高齢者リハビリテーションやスポーツリハビリテーションの実務経験がある教員が、エネルギー供給機構から糖尿病をはじめとした様々な代謝疾患及び内分泌疾患の成因からアプローチ方法、リスク管理を指導する科目である。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	義肢装具学	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	木曜・1、2限
担当教員	廣島 淳				
授業概要	義肢・装具の変遷、近年の適応、名称、種類及び構造、機能評価法を学び、義肢を使用する切断患者のリハビリテーションや装具を使用するリハビリテーションの実際について学習する。				
学習目標	①装具の種類、構造、機能、適応について説明できる。 ②義肢の切断部位に対する種類、構造、機能、適応について説明できる。 ③各疾患に対して使用する装具のデザインと目的、必要な評価、使用方法を説明できる。 ④目的に合わせて、簡単な装具を製作できる。				
回数					担当教員
1回目	義肢装具総論、リハビリテーションにおける義肢装具の役割 P190～194				廣島 淳
2回目	義肢装具の支給体系、健康保険の仕組み、医療従事者の関連性 P18、P65～79、P190～194				廣島 淳
3回目	体幹装具 体幹装具に関する基礎知識と症例に対する装具療法の展開 P194、P276～277、P348				廣島 淳
4回目	体幹装具 P194、P197～198、P272～287、P292				廣島 淳
5回目	上肢装具 指、MP、対立、手関節 P192、P197～199、P209、P214、P300～302、P307～P341、P348～350				廣島 淳
6回目	上肢装具 把持、肘、肩 P192、P207～209、P213～216、P248～249、P257～259、P300、P314～315、P332～341、P348～349				廣島 淳
7回目	演習 手関節装具の製作（プリント）				廣島 淳
8回目	演習 手関節装具の製作（プリント）				廣島 淳
9回目	下肢装具 足底装具 演習（フットプリント） P193、P265～271、P298～299、P346～348				廣島 淳
10回目	下肢装具 短下肢 P193、P203～207、P210～214、P222～224、P238～239、P251～252、P255～256、P303～304、P346～347				廣島 淳
11回目	下肢装具 膝、長下肢 P193、P201～206、P209～226、P239～241、P249～250、P252～P255、P302～P304、P342～346				廣島 淳
12回目	下肢装具 小児、靴型 P193、P217～P247、P260～271、P288～296				廣島 淳
13回目	義足概論 義足の基礎知識 P70～79、P120～P188				廣島 淳
14回目	義足概論 義足の基本構造 チェックポイント P120～188、P357～358				廣島 淳
15回目	義手概論 義手の基礎知識 P65～68、P70～119、P357～358				廣島 淳
教科書及び参考書	義肢装具学(医学書院) 義肢装具のチェックポイント(医学書院) 手のスプリントのすべて(三輪書店)				
成績評価	筆記試験(80%) 出席率(10%) 授業態度(10%) で評価する				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
授業では実物の義肢・装具を使用し回覧しますので、動かしてみたり、装着してみたりして、質感やデザイン、ベルトの位置などをよく観察して理解を深めて下さい。義肢・装具に興味を持ち、疑問点は積極的に質問をして下さい。 尚、睡魔に襲われた時には、教室の横や後ろに立って聞くなり、トイレに行って顔を洗うなり自分自身で工夫して下さい。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
医療機関等で義肢装具士として現在活躍中である非常勤講師が体験談などを交え、義肢装具の概要を講義し、演習では実際に装具製作を体験し、必要な知識を学ぶ科目である。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 中枢Ⅳ	授業形態	講義 演習 ・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	金曜・1・2限
担当教員	鈴木 研				
授業概要	疾患別の運動療法演習ということで、これまでに学んだ知識を確認しながら、今後に予定される臨床実習、さらには、卒後の現場で役立つ機会にします。 模擬患者さんの準備、設定には限界があるため、著作権フリーの動画も用いたり、参考にすべきエピソード、文献を提供します。				
学習目標	①臨床実習を想定し、その準備として位置付けていただきたいです。 ②基本的な介助方法を習得し、安心して安全な介入を目指すために参考にさせていただきたいです。 ③評価、検査方法、症例の捉え方も学んでいただきたいです。				
回数					担当教員
1回目	脳血管障害での全介助を知る①				鈴木 研
2回目	脳血管障害での全介助を知る②(実技テスト)				鈴木 研
3回目	脳血管障害での一部介助を知る①				鈴木 研
4回目	脳血管障害での一部介助を知る②(実技テスト)				鈴木 研
5回目	脳血管障害での病態評価を知る				鈴木 研
6回目	脳血管障害での病態評価を経験する(実技テスト)①				鈴木 研
7回目	脳血管障害での病態評価を経験する(実技テスト)②				鈴木 研
8回目	脳血管障害での病態評価を経験する(実技テスト)③				鈴木 研
9回目	動画視聴とグループディスカッション①				鈴木 研
10回目	動画視聴とグループディスカッション②(課題発表と提出)				鈴木 研
11回目	パーキンソン病を中心とした病態、介入方法を知る①				鈴木 研
12回目	パーキンソン病を中心とした病態、介入方法を知る②(課題作成と提出)				鈴木 研
13回目	レジュメ課題①				鈴木 研
14回目	レジュメ課題②(課題発表と提出)				鈴木 研
15回目	振り返り、補足				鈴木 研
教科書及び参考書	特になし				
成績評価	講義中の取り組み姿勢と各実技テストの結果(100%)、出席(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
昨年度の講義内容を見直し、グループ単位での成績評価としますので、自分以外の誰かが頑張るからではなく、みなさん同じ温度感で取り組んでください。 実技の精度に個人差が生じることは当たり前ですので、時間内を有効に活用し、繰り返し体験しながら個人個人のレベルを上げてください。 みなさんの到達状況によっては講義スケジュールが変更となる場合があります。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
これまでの現場での症例経験の内容だけでなく、実習生への指導、若手セラピストへの指導経験も活かして行きたいと考えています。 興味をひきつけるために臨床実習、卒後の不安を煽るのではなく、前向きに臨めるような情報も提供したいです。					

2025年度 前後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	理学療法概論 研究法 II	授業形態	講義 演習 実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	不定期
担当教員	村田 薫克、水野 靖廣、後藤 洋平、平間 亮、平澤 勉、笠原 靖子（PT専任教員）				
授業概要	研究の大切さを把握し、研究の進め方、研究上の常識、ルール等を習得することができるようになります。研究を行う事は、臨床で患者様についてどのように治療していくのかを考える事と同じような過程で進めていきます。いろいろな角度から物事を自由に考え、問題発見、問題解決できる思考過程を促しましょう。				
学習目標	1.研究計画書の修正をすることができる。 2.実験に対して安全性やリスク管理を考慮して実施することができる。 3.実験結果から成果の集積、分析・考察をすることができる。 4.仮説の立証から研究報告書の作成・プレゼンテーションができる。				
回数					担当教員
1回目	研究の実施①				PT専任教員
2回目	研究の実施②				PT専任教員
3回目	研究の実施③				PT専任教員
4回目	研究の実施④				PT専任教員
5回目	研究の実施⑤				PT専任教員
6回目	研究の実施⑥				PT専任教員
7回目	研究結果の集積①: 研究結果の集積からデータ抽出				PT専任教員
8回目	研究結果の集積②: データ抽出からの統計解析1				PT専任教員
9回目	研究結果の集積③: データ抽出からの統計解析2				PT専任教員
10回目	発表用レジメ及びスライドの作成①: レジメ・スライドの作成①				PT専任教員
11回目	発表用レジメ及びスライドの作成②: レジメ・スライドの作成②				PT専任教員
12回目	発表用レジメ及びスライドの作成③: プレ発表の実施と修正				PT専任教員
13回目	発表用レジメ及びスライドの作成④: プレ発表後の修正と最終完成				PT専任教員
14回目	研究結果発表会①				PT専任教員
15回目	研究結果発表会②				PT専任教員
教科書及び参考書	標準理学療法学 理学療法研究法 配布資料(随時)				
成績評価	発表会、レポート: 60%、研究結果報告、途中経過の提出: 30%、態度: 10% 授業中の質問なども加点に加える場合があります また、欠席1回 3点、遅刻1回 1点減点します。配布資料を忘れた場合も減点の対象とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
・実際に研究をすることで、研究の面白さを体験してください。 ・本校にあります3次元動作解析装置、超音波診断装置、筋電図、呼気ガス分析器など最新機器を用い実験を行います。 ・最近では、卒業後どの施設でも研究発表が一般的に行われるようになってきました。今のうちに、最新鋭の機器を使えるようになると就職先でも仕事が有利に進めることができると考えます。 ・全員で協力して一つの研究発表を作り上げましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
研究をすることによって理学療法の難しさ、奥深さ、何より面白さを体験することが出来ます。また、勉強や臨床で明らかにされていないことを自分自身で追求していくことができます。 実際に行う際に躓いてどうしてよいかわからないことがあると思いますが、方法論も含めて1つの完成形にしていきたいと思います。基本的にはグループで協力し合い実施していきますので、身勝手な行動は控え全員で助け合って一つの成果物を仕上げましょう。					